

東久留米市立第九小学校 第2学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の定着が不十分で、既習漢字を文章の中で用いることができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字テストを定期的に行い、定着につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末のまとめテストにおいて、70点以上の児童を全体の85%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見に理由を付けて発表したり、話し合ったりすることを苦手とする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す視点を明確にして、相手や目的に応じて話したり、聞いたりする場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに自己評価を行わせ、変容が見られた児童を全体の50%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力が低かったり、言葉の使い方を知らなかったりする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の活用を学ぶことができるワークシートやプリント等を用意し、繰り返し練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートやプリントにて、80点以上の児童を全体の85%以上にする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻や時間を正しく読めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を意識させて自分で行動させるなど、時計を見る機会を増やし、授業以外の時間でも、時間を意識できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末に時計の見方を再度テストし、80%以上の児童が時刻や時間を正しく読めるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算が定着していない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートやプリントで繰り返し学習する。わからない児童には、個別で対応して、定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末にテストを行い、80点以上の児童を80%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長さをものさして正確に測れない、ものさしを読めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものさしや定規を使う機会を増やし、ものさしの読み方や、長さの測り方を定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末にテストを行い、80点以上の児童を90%以上にする。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察カードを書くとき、見たことを書くのではなく、自分の感覚で書いてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察をする前に、観察をするときのポイントをより丁寧に指導をする時間を設ける。五感を使って、どのように観察するのか基本的な視点を指導する。上手にかけている児童のカードを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察カードに気付いたことや考えたことをかくことができる児童を全体の80%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路や町を歩きながら、動植物の変化や人々の暮らしの中に季節や良さになかなか気付けない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路にどんなものがあるのか発表させイメージをもたせる。通学路に咲いている花や主要な施設、目印など、教師が事前に写真に撮ったものを見せたり、どんなものを見付ければよいのかを見通しをもたせたりして、見付けようとする意欲をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見付けたものをカードに書くことができる児童を、全体の80%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で気付いたことを発表することが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が気付いたことをまとめたワークシートやプリントを児童同士で見せ合ったり対話したりする時間をより多く取り入れ、自分の考えをはっきりさせたり自分の考えに自信をもてたりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の80%以上の児童が、ワークシートやプリントにまとめた自分の考えを自らすすんで発表できるようにする。</li> </ul>
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことと、自らの生活を結び付けて考えることが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてをはっきりと提示し、学習の見通しをもてるようにする。</li> <li>・机間指導の時に、「もし自分が〇〇だったら」という言葉かけをする等、自分の考えを引き出す指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいに即した自分の考えをワークシートの書くことができる児童を全体の80%以上にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを発表することが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ考えや、似ている考えも発表する意味があることを伝える。また、机間巡視をして、良い考えをもつ児童に事前に声をかけ、自信をもたせる。</li> <li>・全体だけでなく、小グループでの発表の場を設け、自分の考えを相手に伝えやすい環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に自らの考えを、伝えることができる児童を全体の80%以上にする。</li> </ul>